

平成18年度 第2回保健医療従事者研修会開催要領

1. 目的

本研修会は、県内の保健医療従事者の情報の共有化、連携の促進および資質の向上を図ることを趣旨として開催しており、今年度第1回については「リスクマネジメント」について取り上げてきたところである。

第2回については、危機管理をテーマとして取り上げる。

近年、高病原性鳥インフルエンザや新型インフルエンザが発生し、日本で新たに猛威を振るう可能性も十分に考えられる。万が一新型インフルエンザの発生ともなれば、迅速かつ適切な対応が必要とされ、なおかつ保健医療分野のみならず関係部署との連携が、対応についての大きな鍵を握るとされる。

これらのことから、高病原性鳥インフルエンザや新型インフルエンザの現状と対応等に関する危機管理について学ぶことにより、知識を深め、さらに保健医療の現場等においてより適切な対処方法や関係部署の連携を検討することを目的とする。

2. 内容

「危機管理における連携を学ぶ～高病原性鳥インフルエンザを経験して～」をテーマとしたパネルディスカッション

① コーディネーター

東近江地域振興局 地域健康福祉部長 角野 文彦 氏

② パネリスト

京都府保健環境研究所 細菌ウイルス課長 森垣 忠啓 氏

「鳥インフルエンザから新型インフルエンザへ」

滋賀県健康福祉部健康推進課 課長補佐 井堀 政芳 氏

「滋賀県の危機管理時における連携について」

3. 日時

平成18年12月20日(水) 午後1時30分～4時

13:00

受付開始

13:30～13:40 開会、あいさつ

13:40～14:20 コーディネーターからの提言「危機管理について」

14:20～15:40 パネリスト発表

「鳥インフルエンザから新型インフルエンザへ」

「滋賀県の危機管理時における連携について」

15:40～15:50 意見交換

15:50～16:00 コーディネーターよりまとめ

16:00

閉会

4. 場所

野洲文化小劇場

野洲市小篠原2142

5. 対象者 保健医療従事者

6. 主催 (財) 滋賀県健康づくり財団

7. 共催 (社) 滋賀県放射線技師会 (社) 滋賀県臨床衛生検査技師会 (社) 滋賀県理学療法士会 滋賀県市町保健師協議会 滋賀県作業療法士会

8. 後援 滋賀県